

## 森野由紀

40年ぶりの独標登山でした。今年のあの天気で、雨もよいのあいにくの空模様でしたが、ガスの合間から時折上高地や西穂が垣間見え、久しぶりの登山ができました。

毎年登っている方も、初めて登った方もいらっしゃいましたが、追悼の気持ちは年毎に深まるようで、独標では、「あそこが〇〇君の位置だから……」との声に、その時に引き戻されたように、胸を衝かれました。

ご遺族の方々や先生方の年齢になったときには改めて、彼らを惜しむ気持ちが新たになったと感じたものでした。

私自身は、深志高校へ行くのも、同級生の方々にお会いするのも何十年ぶりで、記憶は薄れ面影も見出せないほどでしたが、お話しているうちに少しずつ、あんなこともあった、こんなときもあったと、宝物のような歳月を、思い出すことができた一日でもありました。

お世話してくださった皆様、同行の皆様、ありがとうございました。

